

## 米国カリフォルニア州 生食用ブドウは終了へ 柑橘類は少ない

FreshPlaza 2023年10月16日

カリフォルニア州では、その出荷シーズンが終わりに近づいている果実もあれば、出荷がまだ続く果実や出荷が始まろうとしている果実もある。マウンテンビューフルーツセールス社のクリスタ・ベックステッド氏は、「弊社では柑橘類の出荷シーズンに向けて準備が進んでいる」と話す(以下「」は同氏の発言)。同社は、クレメンタイン、ページマンダリン、タンゴマンダリン及びマーコットを市場に出荷する。最初に出荷されるクレメンタインは、昨年より約2週間遅く11月に収穫される。「天気は夏の間ずっと良かったが、今シーズンはアザミウマによる被害が非常に多かった。」この昆虫は開花期に花の中に入り、発育中の柔らかい果実に傷をつける。「前向きに見ればアザミウマの被害を受けた果実はほとんど落果したが、裏を返せば全体的な収穫量は約20%減少した。」生産量が少ないため果実のサイズは大きく、同氏は順調な出荷を期待している。

クレメンタインは、11月から1月中旬まで出荷する予定である。少し遅れて12月中旬から2月までページマンダリンが、1月下旬から4月までタンゴマンダリンがこれに続く。ソフト柑橘類の出荷シーズンの最後はマーコットで、3月中旬から5月まで出荷される。「収穫の開始は昨年より2週間遅れる見込みだが、終了は例年より2週間早い5月1日頃を見込んでいる。」(一部省略)

### 生食用ブドウは35%減少

カリフォルニア州の柑橘類の出荷シーズンは11月上旬に始まるが、生食用ブドウはその頃に収穫が終了すると予想されており、店頭では11月中旬または下旬まで入手できるはずである。「ハリケーンヒラリーによる雨と湿度の影響で、生食用ブドウは難しいシーズンであった。業界全体の出荷量は、昨年の9,750万箱から少なくとも35%減少すると予測される。」品質は良好であるが、被害の出た果実を特定し、房をきれいにする必要があるので、園地での箱詰めは通常よりもはるかに時間がかかる。「良好な完成品を得るには、いつもより時間がかかっている。」

生食用ブドウの需要は、国内外で良好である。「特に緑色の種無し品種のスイートグローブは、すべての輸出市場で素晴らしい需要が見られた。」この品種は、同社のプレミアム生食用ブドウ限定である「エステートヴィニヤーズ」ブランドの下で梱包されている。この品種は、メキシコ、香港、台湾、マレーシア、韓国、日本、シンガポールに出荷された。(以下省略)

## ベトナム 果実・野菜の輸出は55億米ドル超の予測

ベトナム国営通信社(VNA) 2023年10月16日

ハノイ(VNA)-2023年の果実と野菜の輸出は新記録を達成し、55億米ドル超を獲得するものと予測される。農業農村開発省によると、ベトナムは今年これまでの9か月間に前年比72%近くの急増となる42億米ドルの果実と野菜の輸出を記録し、2018年に達成した38億1千万米ドルの記録を更新した。一方、ベトナム野菜果実協会(VINAFRUIT)は、同じ9か月の輸入量を0.1%減の約14億6千万米ドルと推定した。

ベトナム産果実・野菜の最大の輸入国は、中国、米国、韓国、日本、オランダである。米国への輸出のみがわずかに減少したが、他の国への輸出は大幅に増加した。中国への輸出は22億6千万米ドルを超え、前年比134%増加した。前年比ではオランダ(50%増)、韓国(18%)、日本(6%)がこれに続いた。統計によると、ベトナム産果実・野菜の輸入額は首位の中国が約64%を占め、米国、韓国、日本、オランダがそれに続いた。

特に、ドリアンの輸出は引き続き力強い伸びを達成した。1月~8月の期間に12億8千万米ドル以上を輸出し、前年同期から700%増加した。この急増は、公式チャネルを通じた中国への輸出によるもので、中国はこの期間中に生鮮ものを中心に約11億5千万米ドルのドリアンを輸入した。これにより、ドリアンは今年10月に15億米ドルの目標を達成すると予想されている。

さらに、ジャックフルーツ、マンゴー、ライチ、スイカ、ポメロ、リュウガンなども輸出額を順調に伸ばした。ドラゴンフルーツの輸出は、中国と米国への輸出の急落によりわずかに減少して約4億5千万米ドルとなった。しかし、中国では通常年末までこの果実の需要が高いため、同協会は輸出の回復を期待している。(以下省略)